

ウタイターニー

Uthai Thani

อุทัยธานี

3 วัน 2 คืน

ราคาเริ่มต้น 7,200 บาท/ท่าน

3 日 2 泊

開始価格 7,200 バーツ/人



: natnara.nat



: 062-8595241

1日目：バンコク-ウタイターニー、チャンタラム寺院、フップパータート、バンチャイカオ展望台、トグローンヤウウォーキングストリート

05：30時 バンコクからウタイターニー県に旅行します。3時間くらいかかります。

08：30時 **ウタイターニー県**に到着します。**チャンタラム寺院**に旅行します。もともとはアユタヤ王朝時代に建てられた寺院でした。小さな教会があります中には地元の職人による壁画があり、仏陀の歴史について書かれています。



タースン寺院はアユタヤ王朝時代から建てられた古い寺院で、現在でも小さな精舎があり、その中には後に書かれたと思われる地元の職人技の仏教の歴史を描いた壁画があります。ヤイお坊さんがラッタナコシン時代初期にこの寺院を修復した説教壇を含みます。タースン寺院はリシリンドムお坊さんによって多くの開発がなされてきました。この寺院への貢献は、さまざまな建物を建てました。たとえば、天使を描いた内部の窓やドアで美しく装飾された新しい本堂。プミポン国王陛下はこの本堂のビジョンを断ち切りました。また、周辺には、壁の隅にルアンポーパンと3倍の大ききルアンポーヤイの像が置かれたガラスの壁があります。正面には、ブッダチンナラットのレプリカと、腐敗しない黒猿のリシリンドムお坊さんの遺体を祀るガラスの精舎があります。また、タースン寺院の見どころは、荘厳な絶妙金で飾られた黄金の城です。それは、王位に就任してから50周年を迎える際に、王陛下に王室の功績を与えるために建てられました。宮内庁は新しい黄金の城を「プラサートトーンカンチャナピセク」と名付けました。県の主要な観光名所であるだけでなく、タースン寺院は瞑想の場所でもあり、瞑想のための多くのパビリオンと興味のある優婆塞のための宿泊施設があります。さまざまな旅行、タースンはお互い

にかなり離れています。ある地点から別の地点へ移動するには車両が必要です。自分の車を運転しない人のために、寺院では寺院の路面電車や村人の三輪車を手頃な価格で観光に連れて行きます。タースン内のさまざまな建物には、午前と午後に分かれている開閉時間があります。事前に時間を確



認する必要があります。タースン寺院棧橋には 40 席の遊覧船があります。タースン寺院-グランナム村のルートでのツアーサービス 地元の人からお土産や有機野菜を買うために立ち寄って。時間は約 40 分、料金はお一人様 40 バーツです。

寺院を訪れた後、**フップパータート**に連れて行きます。この洞窟は 1979 年にタムトーン寺院の修道院長プラクルーサンティタムコソンによって発見されました。(トンヨート お坊さん) プラクルーはこの谷を登り、たくさんのタッド木が茂っていることに気づきました。すべての観光客が訪れるべきタイの場所の 1 つと見なされてきた自然の驚異に満ちた場所。パータット谷は、中の大きな洞窟ホールが素敵な森のように見えます。驚異的で不思議に満ちている。彼は 1984 年に谷への入り口となるために洞窟を空けました。その後、王立森林局 (現在の国立公園局) は、この地域をウタイタニ県とタイにとって非常に価値のある保護地域と宣言しました。



タオラーン、プラオ、カッタカオレク、カヌンディンなど、多くの種類の珍しい植物が生息する奇妙な地理のため。パータット谷は、タムプラトゥン非狩猟地域の管理下にあります。パータット谷に入るには、暗い洞窟の廊下を歩く必要があります。最終目的地は、光のある大きなムーランです。原始世界に逃げ

込んだかのように、タット森の素晴らしい写真を公開するとともに。見つかった森の性質は湿度の高い熱帯雨林のようで、日中は高い石灰岩の山々に囲まれた谷の真ん中で太陽が降り注いでいます。パータット谷間には、自然の中を歩くのにふさわしい涼しげな雰囲気があります。徒歩 700 メートルで約 30 分かかります。パータット谷を訪れるのに最適な時間は、



11:00 時-13:00 時で、パータット谷に光が降り注いで、洞窟の中のきらびやかな石のきらめきがとても綺麗に見えました。パータット谷は 16.00 時から観光客に閉鎖されます。観光客は、懐中電灯と蚊よけ剤を持参する必要があります。

昼

レストランで昼ご飯を食べます。

午後

バンチャイカオ展望台に旅行します。ウタイターニー県のもう一つの美しい観光スポットであり、周囲の景色は長く複雑な石灰岩の峡谷に囲まれ、長い列に並んでおり、外国にいるような雰囲気があります。周辺の景色を

眺めるための高床式バルコニーがあります。ウタイターニーの有名な観光名所であるパータット谷からそれほど遠くない場所にあり、わずか 2km の距離にあり、バンチャイカオでのチェックインの写真を撮ることを含みます。バンチャイカオのエリアに入ると、緑豊かな周囲の山々を背景に、緑豊かなトウモロコシ畑が並ぶ道に沿って伸びる道路があります。冬の間、天候は非常に寒く、一部の地元の人々はこの場所をタイのバンチャイカオスイス展望台と呼んでいます。この展望台は、



カオプラーラの石灰岩の山々、パータットの最も美しい景色を眺めることができます。近くの山々が美しく並んでいます。不思議なほど美しく見える村人のとうもろこし畑や果樹園と交差します。このあたりの村人たちは、観光客にチェックインするための小さな展望台を作っています。

それから、**トグローンヤウォーキングストリート**に旅行します。ウタイターニー県ムアン地区ウタイマイ区にあります。古い木造の長屋がある古いコミュニティのように見えます。伝統的には中国のコミュニティです。以前は、アヘンは自由に喫煙することが許可されていました。多くの人がアヘンを売買したり喫煙したりするためにここにやって来ます。雰囲気はとても活気があり、地元の人々はこの場所を「トグローンヤ」と呼んでいます。その後、アヘンが違法として制定されたとき、人々はここから距離を置き始めました。そして最終的には寂れるコミュニティになります。しかし、コミュニティの古い雰囲気は依然として民間部門と地方自治体を魅了しています。そして、コミュニティの村人たちは、トグローンヤを再び生き返らせるために一緒に参加しました。土曜日に村人たちは集まってウォーキングストリートを開き、観光客を歓迎し、地元の特産品、地元の食べ物、地元の製品を持ち出し、そして新世代の手作り製品。訪問者が楽しみながらこの古代のコミュニティを深く体験できるようにするため。トグローンヤを毎日訪れることができます。平日は、観光客が地域の村人の本当の生き方を見る



そして、コミュニティの村人たちは、トグローンヤを再び生き返らせるために一緒に参加しました。土曜日に村人たちは集まってウォーキングストリートを開き、観光客を歓迎し、地元の特産品、地元の食べ物、地元の製品

を持ち出し、そして新世代の手作り製品。訪問者が楽しみながらこの古代のコミュニティを深く体験できるようにするため。トグローンヤを毎日訪れることができます。平日は、観光客が地域の村人の本当の生き方を見る

ことができます。現在も営業している古いお店を散歩して。おいしい古代のコーヒーを飲みながら、コミュニティの平和な雰囲気を眺めましょう。どこかが好きなら、休憩して写真を撮ることができますが、誰もがお土産にかわいい商品を買ってとさまざまな地元の食べ物を楽しみたい場合は。土曜日は 15:00 時から 21:00 時まで営業しているウォーキングストリートで訪れることをお勧めします。

夕方 **独立した食事します。**

19:00 時 チェックインのために、River Marina Resort に泊まります。自由時間です。

2 日目：バーンチョンラック、タムカオウォン寺院、サナム村、パンサワンえん堤

朝

ホテルの食堂で朝ご飯を食べます。それから、**バーンチョンラック**に旅行します。2 つのフロアに分かれてユニークにするためにそれを飾るために使用されます。バーンクンタールアンペットソクラム 美術館 2 階チョンラックさんの妻とシンチャイ テスサナの私設 博物館として組織されました。祖父ルアンペットソクラムの 貴重なアイテムを集めることによって、リビングルーム、キッチン、ベ

ッドルームなどのさまざまな部屋に表示されます。1 階には、アンティークの

おもちゃや人形で飾られた居酒屋の雰囲気を模した喫茶店、お茶、コーヒー、自家製ハーブティー、古代 のレシピ、ポストカードを販売する店、ウタイタニのお土産を販売 するコーナーがあります。次に、ムアン地区からそれほど遠くないバンライ区にあります。



それから、**タムカオウォン寺院**に旅行します。寺院はタイの建築様式で、4 階建てで、地下室はさまざまなショップを含む多目的の中庭で、2 階は

精舎であり、私たちが崇拝する仏足石のレプリカがあります。外から見ると、石灰岩の山々に囲まれた大きな木造家屋が見えます。真っ只中の美しいリゾートのように冬は涼しく快適な雰囲気です。実はこの場所はタムカオウォン寺院、よく見ると巨大なスピリットハウスのようです。3階は法の修行のための場所があります。礼拝堂は4階にあります。仏足石のレプリカに敬意を表するだけでなく、礼拝堂である最上階に着くと、美しい景色も見られます。



昼

レストランで昼ご飯を食べます。

午後

サナム村（巨大な木）に旅行します。ウタイタニ県バンライ地区の観光コミュニティ。これは、ここ移住して定住した古代のラオスクランコミュニティです。ユニークな芸術と文化を持っていることに加えて、サナム村はまた非常に興味深い村の中に観光名所を持っています。村の学習センターは、ラオスクランの人々の伝統的な家である古代の木造家屋のエリアです。この地域で



はコミュニティリーダーは、将来的には観光客が訪れる民俗博物館としてオープンする予定であると述べました。さらに、村人たちは地元の食べ物、Jaew100SamRabも実演します。そして、村の賢人が今でも完全に保存



している伝統的なおもちゃを使って、ラオスクランコミュニティの民俗ゲームを学びに行きました。非常に興味深い古代のおもちゃがたくさんあります。次は村の観光ルートである市場で、市場には村人が売る地元の商品がたくさんあります。伝統的なスイーツと地元の手作り製品の両方で買い物にすることができます。また、村の生活様式を見るために自転車で自転車を借りることもできます。そして、マーズ森の奥

深くを歩くと、樹齢500年を超える巨大な木である村の見どころが見つかります。この巨大な木はリャンブン木です。サナム村人の森住人ヒアンさんの所有地にあります。高さ53メートル、40人の大きなサイズで擁まれています。全体として、このサナム村は、観光開発への優れたアプロ

一ちを持っている観光コミュニティと見なされています。多くの興味深いアトラクションがあります。魅力的で価値のある文化、伝統があり、コミュニティツーリズムが好きの人 に適しています。今も変わらないラオスクランの自然なライフスタイルと魅力を体験するのに適しています。



その後、**パンサワンえん堤**に旅行します。

ウタイタニ県のバンライ地区にあります。これ

は、水を貯め、水の流れを遅くするために建設されたコミュニティダムです。ダムの容量を超えると、尾根を越えて底まで水が溢れ、四角い穴の底に当たる美しいウォーターカーテンが形成され、不思議な光景になります。梅雨の時期に訪れるのがいい季節ですが、水がなくなる日もあるので少し運を測る必要があります。2~3回の大雨が降った後でなければなりません。翌日、ダム から大量の水が溢れ、美しいウォーターカーテンに変わります。



夕方 **レストランで晩ご飯を食べます。** 食事の後、**River Marina Resort** に泊まります。自由時間です。

3日目：テポー島、サカエラン川沿いの生き方を見、カオサカエラン、バンコク

朝 **ホテルの食堂で朝ご飯を食べます。** 食事の後、荷物を詰めてチェックアウトします。その後、**テポー島**に旅行します。テポー島はサイクリング愛好家にとって興味深い場所です。市の生鮮市場とウボサタラム寺院を結ぶ橋を渡った後、それほど長くも小さくもありませんが、バイクが行き違いのことができます。両側の雰囲気は、竹林、



とうもろこし畑、田んぼ で、落ち着いた雰囲気です。落ち着いた日陰の雰囲気を醸し出しています。ここの村人たちはグレープフルーツの果樹園を作っています。インドメテングも育てます。テポー島の日陰で快適な雰囲気は、世界中の旅行者が毎週末サイクリングのためにテポー島に集まる理由です。この場所をデフォルトでサイクリストの楽園にします。かつて、テポー島はチャオプラヤー川とサカエラン川の間突き出た岬でした。後で接続 運河が掘られたとき 岬からは川の真ん中にある島になり、市の生鮮市場とこの島にあるウボサッタラム寺院を結ぶ橋があります。そして、これはサイクリストのお気に入りのテポー島の喜びの始まりです。とうもろ

こし畑、田んぼ、村人のグレープフルーツ果樹園など、自然の中で幸せに満ちた雰囲気へと続く小道だからです。インドメテングを栽培しているところもあります。バンターディンデーンに到着すると、村人が手作りしたランパンマットが販売されています。プームタマ寺院までサイクリングを続けると、座ってリラックスし、寺院エリア内の平和を吸収するためのパビリオンが見つかります。そして最終的に、自転車道はタースンの合流点につながり、合計距離は 33



キロになります。それだけでなく、いくつかのポイントは、多くの地方のグッズに目がくらむ製品の源でもあります。例えば、魚から加工食品、ポー島の魚の加工の主婦、鋼のナイフ製造のグループ、竹かごグループ、線香のグループ。

それから、**サカエラン川沿いの生き方を見**に旅行します。観光客を魅了するハイライトです。今では栄サカエラン川沿いの生活様式は、川のカーブに沿って伸びる多くのいかだの家で、いかだのライフスタイルのオーラを今も維持しています。自分でいかだのライフスタイルを歩いて見ることが

できます。またはツアーガイドを使用して棧橋は市の生鮮市場に設置されます。サカエラン川沿いにあるウタイタニの生鮮市場を散策することもできます。ウタイタニの街にある古いの雰囲気を感じて。観光ルートは、100年以上の歴史を持つウタイの人々の心をつかんだ重要な場所であるボットがあるサカエラン川に架かる橋から始まります。これは、サカエランウォーターフロントのシンボルとし



て長い間ました。現在復元中ですが、訪問するのにあまり便利ではないかもしれません。ボットの向かいにはウタイターニー市営市場があります。この橋は、街とテポー島の間のローミングに使用されるだけでなく、見逃してはならないチェックインポイントと見なされています。橋からは、ウタイの人々の伝統的な生活様式であるウォーターフロントと平行な屋形船風の家々が立ち並ぶサカエラン川の景色を眺めることができます。栄クラン川沿いの景色は、夕方午後遅く、美しく暖かい夕方の光、そして朝には美しい村の生活を見ることができる2つの期間で訪れる必要があります村人たち。



昼

レストランで昼ご飯を食べます。

午後

カオサカエランに到着します。ウタイの街を西に塞ぐる山です。サカエラン山は、ウタイの人々にとって聖地とされています。また、1900年以來建てられた古い寺院であるランカスラタナキリ寺院の場所でもあります。

この寺院は、ラッタナコシン初期からウタイターニーの貴重な仏像であった600~700歳のパーンマーンラウィチャイでな仏像を祀っています。そして、サカエラン山の頂上にあるモンドップの近くには、以前はトンディー氏として知られていたラーマ1世の治世のソムデップラパトムボロムマハチャノクの記念碑があります。祭壇に座っている本物の2倍の大きさの銅像です。毎年4月6日には、カオサカエランにも咲く地方の花であるスファニカやファーイカムの季節に合わせて、王家の記念碑に敬意を表する式典が行われます。サカエラン山の頂上には、シリマハマヤクタカーンというタイ風のモンドップをはじめ、多くの重要な宗教的な場所があります。それは仏陀が説教に行った場所のようなものです。さらに、重要な仏像精舎があります。仏舎利精舎、中国の神社、およびその周辺地域からも、ウタイターニーの街の広い景色を見ることができるということです。座ってリラックスするためのいくつかの視点があります。このカオサカエラン寺院でまた、ウタイターニー県の重要な伝統を開催する場所でもあります。毎年11月の朔望月の月の初日に、タクバットデボのお祭りが行われます。栄クラン山の頂上から下



のワットサンカスラッタナキリの中庭まで499 段の階段を下る 500 人以上の僧侶がいます。仏陀が仏教の出安居終わりの日に母親に説教するためにダオワドゥン天国から降りてきた日と同じような感情を与える施しを受けるために。

15 : 00 時 ウタイターニー県から出てバンコクに戻ります。3 時間くらいかかります。

18 : 00 時 バンコクに無事到着します。



サービス率

	値段
開始価格/人	7,200 バーツ

このサービス料金には以下が含まれます。

- ルームサービス料金
- VIP バン（プログラムに従って旅行）
- 飲料水 1 本/日
- 旅程で指定されたアトラクションへの入場料
- 旅行中のツアーガイド
- 医療費方針に基づく旅行傷害保険は、1 人あたり 50 万バーツです。または死亡した場合、保険会社の条件により、1 人あたり 1,000,000 バーツが上限となります。健康保険は含まれていません。
- 食費、旅程で指定された項目に従って。
- リストに指定されている標準的なホテル料金（1 部屋あたり 2 人）

このサービス料金含まれていません。

- 室内ミニバー（該当する場合）、リストに指定されているもの以外の個人的な費用です。
- 菜食主義者のための食費、イスラム教徒のための食べ物料金
- 実際の支払いに基づく外国人の追加入場料
- VAT 7%、源泉徴収税 3%
- ドライバーとガイドのためのヒントは一人あたり 300 バーツ